４年	7	式の計算の順じょ	組　　番 名前（　　）

チェック 次の問いに答えましょう。

① 次の計算をしましょう。

㋐ ６３÷（２１÷３）
＝６３÷７
＝９
答え（　９　）

㋑ ５×９－８÷４
＝４５－２
＝４３
答え（　４３　）

② 子ども会に１４人のこどもがいます。子ども１人につき、プレーンクッキー２まいとチョコクッキー３まい配ります。配るクッキーは、ぜんぶで何まいになりますか。

この問題の答えをもとめるときの正しい式を、次のア～エからすべてえらび、記号に○をつけましょう。

ア　１４×２×３　　(イ)　２×１４＋３×１４　　(ウ)　（２＋３）×１４　　エ　１４×（２＋３）

問題

ゆうきさんの住む地区で、夏祭りがありました。ゆうきさんは、そのことを日記にかきました。

きのう夏祭りがありました。たくさんの人が来ていました。今日の新聞に、おとなが198人、子どもが245人来ていたとかいてありました。
祭りで、いちばんもりあがるのが、おみこしです。おとなの人が、自分で作ったおみこしを4人1組でかつぎ、1200mの道路を走ります。今年は、きょ年よりも3組ふえて、19 組がさんかしていました。どのおみこしもかっこよかったです。ぼくも、いつかおみこしを作りたいです。
祭りでは、出店がたくさん出ていました。かき氷やさんでは、350円の太陽のたまご味が82こと、320円のめろめろメロン味が95こ売れたそうです。
ぼくは、おこづかいを1000円もらったので、1回250円のしゃ的を1回と、1回150円の金魚すくいを2回しました。金魚が3びきすくえました。らい年の夏祭りが待ち遠しいです。

（１）ゆうきさんは、下線の部分について、おつりをもとめる式を考えています。

遊んだものの代金　しゃ的１回　金魚すくい２回
２５０　＋　１５０×２　＝　５５０

おつり　出したお金　遊んだものの代金
１０００　－　５５０　＝　４５０

答え　４５０円

ゆうきさんは、上の図をみて、次のように言いました。

ゆうき

おつりをもとめる式は、出したお金 － 遊んだものの代金 なので、上の２つの式は、
１０００－２５０＋１５０×２　というように、１つの式で表すことができます。

ゆうきさんの式では、おつりが４５０円になりません。
おつりの４５０円が正しく求められるように、右の式に（　　）をかきいれましょう。

１０００ －（２５０ ＋ １５０ × ２）

（２）ゆうきさんの日記をみて、先生が式をつくりました。この㋐、㋑の式はそれぞれどのような数をもとめているかを説明しましょう。

㋐　３５０×８２＋３２０×９５

（例）かき氷屋で、太陽のたまご味とめろめろメロン味のかき氷が売れた合計金がく。

㋑　４×（１９－３）

（例）きょ年、おみこしにさんかした人数。